平成 25 年度都道府県 IYEO 役員研修の目的と基本方針

「社会でリーダーシップを発揮できる人材育成を目指して」

変化の激しい現代社会においては、これらの変化に対応し幅広い視野を持って新しい取組みを考え、実行できる人材が必要とされている。このような現状を踏まえて、50 年を超える内閣府青年国際交流事業で培われた青年育成のノウハウと日本青年国際交流機構で築き上げたネットワークをいかした人材育成に取り組む。

1. 青年層活性化の基盤づくりに取り組もう

青年の社会活動へのニーズを把握して、青年の活動の場作りと環境整備に取り組むべく、国に対して青年施策についての提言を積極的に行う。同時に、自団体の活動内容を見直すとともに他団体との連携に取組み、青年層の活性化を図って、青年による社会の活性化を目指す。

2. 地域社会に貢献できる人材育成に取り組もう

地域における国際交流活動を積極的に行い、地域と世界の距離を狭めると共に、地域のニーズに合った貢献が果たせる人材の育成に努める。

3. 国際ネットワークをいかした国際協力活動に取り組もう

国内外における様々な課題に対応するため、半世紀にわたって築いたネットワークを活用して国際協力活動を推進し社会に貢献していく。

「団体をアピールするためのプレゼンテーション能力の向上」

都道府県 IYEO 役員研修では、各地域で時代に合った活動を発案、展開していくうえで必要な視点を養い、それを具体的に実践できる人を育成することを目指す。また、その動きが IYEO 全体にとって新しい風を生むことをねらう。

そのために、都道府県 IYEO の役員として必要な考え方やノウハウを身につけ、幅広いネットワークを構築して、参加者それぞれが、研修後に変化の一歩を踏み出すことをねらう。

IYEO は平成 25 年度の活動方針として、「社会でリーダーシップを発揮できる人材育成を目指して」を掲げました。都道府県 IYEO の役員一人一人が、プレゼンテーション能力を向上させることにより、会員や一般に対して団体をアピールしていくことで、安定した組織運営と、組織力の向上につなげていきます。

＜研修の流れ＞

1　全体会～IYEO についての理解を深める、プレゼンテーション能力の基本を学ぶ（概念整理）
2　分科会～人に伝える場面を意識した具体的スキルを学ぶ（実践力）
3　振り返り（あなたはどんな変化を生み出しますか？）

＜全体会　＞

IYEO の組織の概要や特徴について学ぶとともに、プレゼンテーション能力を高めるための基本を学びます。

- **IYEO について理解を深める**
  - IYEO クイズ
  - 団体の特徴について考える
- **プレゼンテーション能力の向上（基礎編）**
  - 効果的なプレゼンテーションをするためには、目的や対象を明確に把握することが重要
  - 場面作りにとらわれる前に、組み立て方を理解する

＜分科会＞

A. プレゼンテーション能力の向上（実践編）

都道府県 IYEO をリードする役割にある皆さんは、公式な場での挨拶や司会、総会運営、ミーティング運営などの場において、人の前に立つことが多々あるでしょう。また、多くの人に説明をしたり説得したりする場面も必要となるでしょう。それぞれの場面でどんな内容が求められているのか、適切な言葉づかいは、等必要なスキルを学びます。

B. 団体や活動の広報

社会的によい活動をしている団体は多くありますが、アピール上手とは限りません。一般の方や会員の視点で、IYEO が時代に合った広報を打ち出していくには、どのような戦略のもとにどう見せていけるのか、具体的に掘り下げていきます。

C. 受入・招へいプログラム運営ノウハウ

内閣府の交流事業をはじめ、都道府県 IYEO では公的なプログラムの運営にかかわることがあります。行政が主催、共催となるプログラムにおいて、企画・予算→現場運営（オリエンテーション、レセプション等）の流れの中で、どのような点に留意して運営していけばよいかを学びます。